3. 令和6年度の主な事業と財源内訳

令和6年度の主な事業の一部について、事業の内容と財源の内訳をご紹介します(写真等はイメージ)。

長山中学校区小中一貫校施設整備事業(継続)

市内最初のモデル校である施設一体型小中一貫校を整備し、義務教育9年間における系統的な学 びを目指す「小中一貫教育」を推進します(令和9年度開校予定)。

○小中一貫校施設整備事業

43億2,703万円 ※3か年継続事業総額 (R6~8)

国からの補助 12億6,352万円

交付税 7億4,300万円

市の負担 23億2,051万円





森林公園リニューアル事業(継続)※最終年度

民間のノウハウを活用した官民連携事業(Park-PFI)を活用しながら魅力のある公園へのリニュ-アルを実施します。キャンプ及びバーベキュー機能は残しつつ、一日中遊べる・楽しめるアウトドア・ア クティビティの交流拠点として生まれ変わります。

○森林公園リニューアル事業

6億7.701万円

|※2か年継続事業総額 $(R5\sim6)$

国からの補助 2億7,710万円

交付税 7,870万円

市の負担 3億2,121万円



新保健福祉施設建設事業(継続)※最終年度

令和7年度供用開始を目指して、健康づくりや子育ての総合的な支援、福祉機能を集約し、「市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点」となることを基本理念とする新保健福祉施設を整備します。

○新保健福祉施設建設事業

14億3,590万円

※2か年継続事業総額

 $(R5\sim6)$

国からの補助 955万円

交付税 3億7,760万円

市の負担 10億2,445万円

県からの補助 2,430万円







避難所環境改善事業(新規)

災害時に避難所として活用する、龍ケ崎中学校体育館の柔剣道場への空調整備により、避難所環境を改善し、防災力強化を図ります。

○避難所環境改善事業

8,109万円

交付税 5,670万円 市の負担 2,439万円





帯状疱疹・HPVワクチン接種助成事業(新規)

帯状疱疹の発症率低減及び重症化予防に効果的な帯状疱疹ワクチン並びに小6~高1までの接種を希望する男性へHPVワクチン接種費の一部助成を行うことで、接種機会を確保し、接種希望者の経済的負担軽減、感染予防を図ります。なお、HPVワクチン接種費の助成は県内初の取り組みとなります。

○帯状疱疹ワクチン接種助成事業

1,986万円

〇HPVワクチン任意接種助成事業

89万円

市の負担 2,075万円



